

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立海老名小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

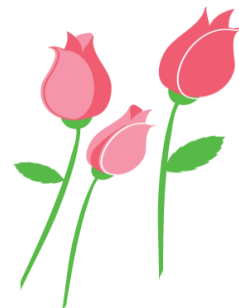
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
- 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

◆課題のある点

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 与えられた情報を正確に受け取り、理解することを得意とする一方で、自分の考えをまとめることや工夫して発信することには課題が残るという傾向がみられます。このことから、日頃の学習の中で、自分の考えや学習のまとめを書く際に、キーワードを示したり、書き方の型を示したりすることで、自分の考えを文章にまとめる経験を積みさせます。また、よりよい文章や表現を模範例として示し、全体で共有することで、学びを深めます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 示された場面に合致した四則を組み合わせた式や、二つの数量の比例関係から未知の数量を求める式を立て、計算処理をすること。
- 日常生活の中にある数学的事象に対して、教科で学んだ知識を活用すること。

◆課題のある点

- 図形の面積の性質について、複数の既習内容を総合して問題解決すること。
- 式や言葉を用いて立式の根拠や、計算の過程を説明すること。
- 複数のグラフや表から読み取った情報を、言葉や数を用いて説明すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 課題解決の為に条件が明示されている数学的事象に対する計算処理は比較的にできている一方で、複数の情報を合わせて考察したり、説明したりすることについては課題が見られます。このことから、問題解決の過程を説明したり、多角的な視点で解釈させたりする活動を通して既習の知識を応用する機会を増やすよう改善します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め、整理して発表する学習活動に取り組んでいる」と答えた児童の割合が全国平均より高く、授業の見通しを立て積極的に学習に参加したり、ICT 機器を使用して意欲的に調べ学習を行ったりしていることがわかります。
- 「算数の勉強は好き」「算数の勉強は大切だと思う」「算数の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」と答える児童が多いです。また、「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題に「最後まで解答を書こうと努力した」と回答する児童が多く、粘り強く最後まで取り組む姿勢が育っていることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「英語の勉強は好き」「これまで、学校の授業以外で英語を使う機会があった」と答える児童の割合が全国平均より高いが、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」という回答は、全国平均よりも低かったことから、国際教育の理解を図っていく必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 学校の授業以外に勉強をしている時間や学校が休みの日に勉強をしている割合が、全国平均より高い。また、「新聞を読んでいる」「読書は好き」と回答する児童も全国平均より高いです。世の中の動きや生活に役立つ情報など社会に対して関心をもったり、新しい教養や知識を得ることに時間を費やしたりしていることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「朝食を食べている」と答える児童は全国平均より高いが、「毎日、同じくらいの時間に寝ている」「毎日、同じくらいの時間に起きている」と回答する割合が全国平均より低いです。
- 「自分には、良いところがある」と答える児童の割合が全国平均より低いです。

今後の具体的な取組について

- 積み重ねてきた学びを通して、「自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表している」と答える児童が多かったが、話し合いの中で互いの良さを生かすことが不十分であると感じている児童も多いです。対話的な学び合いの場を増やす中で、他者の価値観を認めながら学びを深め、自尊心を高めていきます。
- 保護者や教員が「褒め・認め・励ます」ことで、児童が結果のみに焦点を当てずに、それまでの自分の頑張りや努力の過程から、自分の良さに気づき、それぞれの教育活動の意義や喜びを感じたり、自己肯定感や自己有用感を高めたりできる環境を作っていきます。

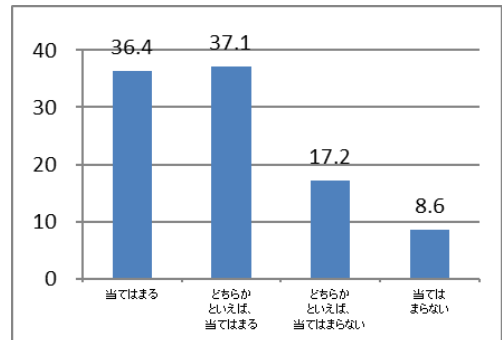
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

子どものよいところをたくさん伝えていきましょう。

自分のよさを知り、自分を認めることは、心を強くし、自己肯定にもつながります。これからの時代をたくましく生きていく力を育むために、子どものよいところを認め、伝えていきましょう。

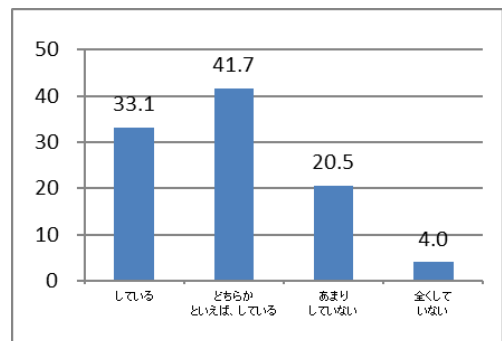


自分には、よいところがあると思いますか

2

規則正しい生活を送りましょう。

就寝時刻、起床時刻ともにばらつきがあります。夜更かしをしたり、テレビやゲームの画面から強い刺激を受けたりすると、睡眠の質が低下し、翌朝の体調にも影響を及ぼします。生活リズムを整え、規則正しい生活を送りましょう。

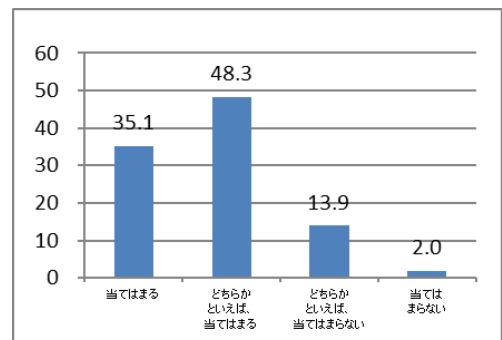


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

3

みんなで支え合い、生活しましょう。

これからの時代は、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合える共生社会を形成していくことが重要です。みんなで認め合い、協力し合って生活しましょう。

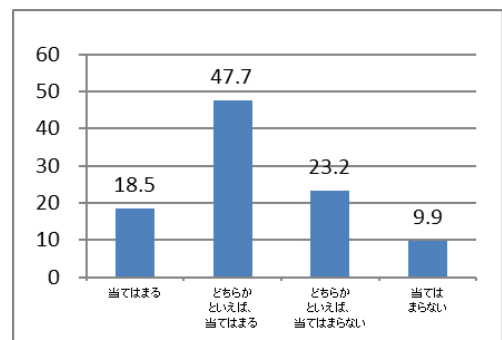


人が困っているときは、進んで助けていますか

4

相手の言葉を受け止め、考えや気持ちを自分の言葉で表現できるようにしましょう。

自分の言葉で適切に表現する力、相手の言葉を正しく理解する力は、これからの社会を豊かに生きる力になります。相手の意見をよく聞き、自分の考えを深めることができるようにしましょう。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



多様性を受け止め、多様性を生かし、えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係